

ジェネリック 医薬品の問題点

「血圧降下薬をジェネリックに変えたら、血圧降下作用が弱いように思える。」「血圧降下剤をジェネリックに変えた患者さんから、蛋白尿がでるようになった。」と友人が言っていました。先発薬とジェネリック薬は同じではないことの現れだと思います。

「ジェネリックのカプセル薬が原形をとどめたまま便とともに排泄された。」と聞いたこともあります。ジェネリック薬の中には、薬剤が体内で吸収されないカプセル薬もあるということです。

メソトレキサートというがん細胞をおさえる薬があります。この薬は、最近、関節リウマチの患者さんにも一般的に使われています。この薬の副作用でこれまでに465人の死亡例が報告されているそうですが、その報告は先発医薬品を服用した人を対象とした調査報告で、ジェネリック医薬品を服用した患者さんについては調査対象外だそうです。

効果判定調査、副作用調査が免除されていて、現場の医師にそれらの情報提供がないことがジェネリック医薬品の最大の問題点だと思われま

(S.Ne)

医療機関検索のご案内
右下のQRコードを読み取ると、ご自宅や最寄駅付近の医療機関を検索することができます。



こんな時どうする

こどもに落ち着きがありません。

横浜市精神科医会 飯田 美紀
小児療育相談センター 青い鳥診療所



3歳の男の子です。歩きだしたとたん、じっとしていません。外に連れていくと目についたところへ突進していきま

しつけの問題 なのでしょ



しつけではなく、発達上の問題から育てにくいお子さんかもしれない。ADHD(注意欠陥多動性障害)が疑われます。ADHDとは多動、衝動性、不注意などが特徴です。多動とはじっとしていら

を得ることも大切です。

どこで相談したら よいので



お住まいの区を管轄する地域療育センターや福祉保健センター、児童相談所などで相談してみま

家庭ではどのように対応 したらよいので



刺激に反応しやすいので環境を整えてあげま